



オーシーアール コウガク モ ジ ニンシキ
OCR (光学文字認識)
 Optical Character Recognition



印刷された文字を読み取ってテキストデータに変換する技術や装置。スキャナーなどを利用して紙の原稿をいったん画像に変換し、その後、OCR機能を持つ専用のソフトウェアで画像内の文字を読み取ってテキストデータに変換します。

「OCR (オーシーアール)」とは、「Optical Character Recognition (光学文字認識)」または「Optical Character Reader (光学文字読み取り装置)」の略語です。文字を読み取る技術をさすこともありますし、OCR機能を持つソフトウェアをさすこともあります。また、スキャナーを含めこうした全体の仕組みをさすこともあります。紙の原稿のままだと多くの人に内容を見てもらうためには紙自体をコピーして配布するしかありませんが、紙の原稿がテキストデータとなることで、文字をコピーしてメールにペーストして相手に送ったり、文字を検索して原稿を見つけたりすることが可能となります。また視覚障害者にとっては、紙の本や資料の内容をテキストデータに変換することで音声の読み上げが可能となり、本や資料の内容を知ることができます。

OCR用に利用されるスキャナーにはさまざまなタイプがあります。印刷物の内容を1枚1枚正確にスキャンする際は「イメージ (画像) スキャナー」が、文書や名刺など大量を一度にスキャンする際は「ドキュメント (文書) スキャナー」が、それぞれ適しています。また、手軽にスキャンできるものとして「ハンディスキャナー」があります。印刷物を動かすのではなく、印刷物の上で自分で機器を移動してスキャンするタイプです。スキャナー以外にも近年はスマートフォンなどモバイル端末のカメラ機能やデジタルカメラを利用してスキャンする方式も増えています。

スキャン後にOCRを行うソフトウェアもさまざまなものがあり、パナソニックの『読取革命』やアドビの『Adobe Acrobat』などが有名です。



「Dropbox」や「EVERNOTE」などのクラウドサービスや、モバイル端末とスムーズに連携できるイメージスキャナー「ScanSnap」シリーズ
 提供：(株)PFU



セイトイニンショウ ニンショウ
生体認証 (バイOMETRICS 認証)



何らかの手続きや処理を行う際、通常、パスワードを入力して「操作している者が本人かどうか」を認証します。この認証を、生物的な特徴 (指紋、掌紋、声紋、静脈、虹彩など) や、動作の癖 (筆跡、まばたき、歩きかたなど) を分析して行うこと、またはそのための技術を総称して「生体認証 (バイOMETRICS 認証)」と呼びます。とくに指紋や静脈パターンをもとにした認証方法は、近年、ATMの本人確認のほか、スマートフォンやタブレットのロック解除、献血時の診療録の照合など、広く実用化されています。

生体認証は、ほかの認証方法と比べて安全性が高いとされますが、指紋などを偽造する技術とのイタチごっこになりかねない点や、偽造された場合に、パスワードと比べて変更が難しい点が懸念されています。



生体認証には「すべての人に対して確認できること」「それぞれの個人に特有であること」「年齢による変化がないこと」が求められる



シネマ・デイジー



視覚障害者が耳で映画を楽しめるよう、映画本編の主音声と、人物の動き、表情、周囲の風景などをことばで解説した音声を、ひとつのデータにまとめたもの。「耳で観る映画」とも呼ばれます。「デイジー (Digital Accessible Information System / DAISY)」というデータ形式をもとに、2013年、日本ライトハウス情報文化センターと日本点字図書館が共同で開発、貸し出しも行っています。映画の映像を観ることはできませんが、DAISY対応の再生機と併用することで、映画の主音声と状況解説を同時に聴くことが可能です。制作はおもにボランティアスタッフが行っており、はじめに映画のセリフをすべて文字に書き起こします。その後、ストーリーをもとに重要なポイント (アイテム、場所、衣裳など) に注意を払いながら、状況解説の台本を作成し、録音を行います。



© 日本ライトハウス情報文化センター
 © シナノケンシ(株)